

蝶の道プロジェクト

『蝶の道プロジェクト』とは、品川区内に「蝶のレストラン（食草園）」を作り、蝶の飛び交うエリア「蝶の道」を広げていく活動です。このたび、推進協議会と観察会などが開催され、プロジェクトの成果や今後の展開などについて話し合われました。

蝶の道推進協議会

8月30日（木）「蝶の道推進協議会」が開かれました。八潮、鮫洲、花海道、東大井、大崎、平塚などから、地域ボランティア、小学校保護者、保育園、児童センター、東京電力、自宅で食草園を以前から作っている方など、多くの方に参加いただきました。

プロジェクトのコンセプト、各人の経過報告、これからの目標などを話し合いました。後半はお互いへの質疑応答などで大いに盛り上がりしました。

参加者は皆、チョウや虫を育てています。育成には自然環境のバランスが大事であることを理解されて行動していました。また子どもたちがチョウを育てることにより「心」が変わってきたというお話もあり、大変有意義な会議となりました。

蝶の道 観察会

9月29日（土）「蝶の道観察会」を行いました。まず鮫浜小学校で、食草園を見ながら、蝶の道プロジェクト事務局の南孝彦さんより説明を受けました。

昨年植えた、アシタバ、ウマノズクサは大きく成長しており、アシタバにはセリ科特有の形をした花がたくさん咲いていました。

その後、花海道（勝島運河）に移動。花海道プロジェクト事務局の永尾章二さんに運河の話をしていただきました。花海道では、

ジャコウアゲハの卵、幼虫、サナギを見ることができました。雨のため、ジャコウアゲハ、ツマグロヒョウモンなどの成虫は見られませんが、葉の陰で雨宿りをしているモンシロチョウを見つけました。色々な質問を受けながら、2時間程の観察会を行いました。

当日は、読売新聞ジュニアプレスの記者（高2、小6、小5）たちと、グラフしながわの記者も参加されました。取材の結果は、「読売新聞」は10月20日夕刊に掲載されました。「グラフしながわ」は来年3月頃の号に掲載予定とのことです。



花海道での観察会

食草園で保護したキアゲハが羽化しました



（撮影：杉山純子）

8月中旬、立会小学校の今年作ったばかりの食草園で、アシタバの葉に幼虫が二匹いるのが発見されました。アシタバの葉がまだ小さく、幼虫が育つのに十分な量はなさそうだったので、PTAの杉山さんが自宅に保護し、八百屋で買ってきたアシタバを与えていました。数日後サナギになった2匹は、8月30と9月1日に無事羽化しました。

来年には食草園のアシタバも大きくなるので、保護する必要もなく幼虫は元気に育ってくれることでしょう。

10月24日（水）テレビ東京の番組「すなっぷ（19：55～20：00）」で「蝶の道プロジェクト」の様子が放映されました。

11月15日（木）芝浦工業大学オープンテクノカレッジ講演で、南孝彦さんが蝶の道プロジェクトの話をする。

毎日小学生新聞（10月10日・水曜日発行）内「チャンネルサラダ」で「蝶の道プロジェクト」のコラムがスタートしました。（今後は不定期に掲載。）

毎日小学生新聞（10月14日・日曜日発行）の「学校も街も緑いっぱい」のコーナーで、環境絵本のキャラクター「はなかっぱくん」とのコラボがスタートしました。（毎月第二日曜日に連載。）

環境情報活動センター 今後のイベント予定

11月17日（土）14:00 - 16:00
「温暖化防止に向けて『環境マネジ
メントシステム』を導入しませんか！」
（事業者向け講座）

費用：無料 締め切り：11月5日

11月24日（土）14:00 - 16:00
「どんぐりカレンダーを作ろう！」

費用：200円 締め切り：11月12日

11月25日（日）14:00 - 17:00

「お金にまつわるエコ知識～人・環
境・地域にやさしいお金の預け方～」

費用：500円 締め切り：11月19日

12月16日（日）
ネイチャークラフトでクリスマス
松ぼっくりのツリー 10：00 -
自然素材のリース 14：00 -

費用：200円 締め切り：11月30日

応募方法は往復ハガキに希望の講座、講座日時、住所、氏名、年齢を書いて環境情報活動センターまでお送り下さい。ホームページからもご応募できます。申込み多数の場合は抽選。

しながわECOだより2007年秋号

発行：品川区環境清掃事業部
編集：特定非営利活動法人エコタウン
しながわ

発行日：平成19年11月10日

住所：〒140-8715
品川区広町2-1-36
品川区環境情報活動センター内

TEL/FAX：03-5742-6533

E-mail：center@shinagawa-eco.jp

HP：http://shinagawa-eco.jp/



広げよう！エコな街！

品川区商店街連合会の取り組み

地域に根づきつつあるリサイクルとレジ袋削減への動き。環境を意識したこのような取り組みの立役者となっているのが品川区商店街連合会（以下、区商連）です。品川区全域で展開されている、区商連のエコな活動を特集します。

区民参加型のリサイクル

区内の商店街で右上の写真のような機械を見かけたことはありませんか。区商連が設置しているこの「エコスポット」は、飲み終わった後のかさばる缶やペットボトルを回収し、中で圧縮して収納する優れたものです。さらに、缶やペットボトルを投入すると、専用のカードにポイントが溜まっていき、500ポイントまで溜まると商店街で使える商品券と交換できる嬉しい特典もあります。現在、区内の11の商店街に設置しており、多くの区民の方々にご利用いただきます。資源のリサイクルに役立っています。

この「エコスポット」、実は舞台裏には多くの苦労があります。飲料が入ったまま投入すると機械が故障してしまいますし、容量いっぱいになれば、圧縮された中身を近くの保管場所まで運ばなくてはなりません。これがまた重労働なんです。しっかりとした管理には人手と労力が不可欠でした。設置当初は、「缶が詰まって動かない」など、苦情やトラブルが後をたちませんでした。ボランティアの方々や近隣のお店の方々の協力によって、厳しい時期を乗り越え、今日まで維持されてきました。

設置から4年余りがたち、区民の方々も機械の使い方に慣れ、トラブルは減りました。また、最初はポイントを溜めて商品券に交換するのが目的だったのが、純粋にリサイクルに貢献したいという思いが徐々に高まり、そのことも苦情やトラブル減少の理由になっているのかもしれない。

レジ袋削減へ



「エコスポット」と並んで、区商連が進めているもう一つの取り組みが「マイバッグ運動」です。区内の商店街で買い物をした際に、レジ袋を断ったお客様にコインを渡し、集めたコインを商品券と交換する運動です。このコインは、商店街事務所などに持っていけば、「エコスポット」カードにポイントとして加算することもできます（コインのまま集めても、カードにポイントとして集めて



も、どちらでもかまいません）。マイバッグを奨励し、無駄なレジ袋を減らすためのこの運動は、区内の44商店街、約600店舗が参加しています。

区商連では、エコスポット事業やマイバッグ運動を広めるために、様々な場所で教育活動、啓蒙活動を行っています。地域全体で環境に対する意識を高め、地球にやさしいライフスタイルを定着させるべく、積極的に活動中です。



小学校での活動風景

品川区商店街連合会 H P
http://shoren.shinagawa.or.jp/

次ページもレジ袋関連の記事です

GO!

突撃アンケート マイバッグ持っていますか？

みなさんはマイバッグを持っていますか。持っているだけでなく、実際に普段の買い物で使っていますか。レジ袋削減への取り組みは、自治体、商店街、スーパーなど、どこも積極的に行っています。今年に入り、スーパーのレジ袋有料化に関するニュースもよく目にするようになりました。このような動きを買い物客はどのように見ているのでしょうか。大崎にキャンパスのある立正大学の学生13人が、品川区内のスーパーで、レジ袋に関する買い物客からの聞き取り調査を行いました。



立正大学文学部社会学科の田嶋和久先生のクラスでは、社会調査実習の一環としてスーパーのレジ袋に関する意識調査を行っています。今回、買い物客に対して行われた調査結果の一部をお借りし、レジ袋削減のためには何が必要なのかを、ECOだより編集部で独自に考えてみました。

マイバッグ あなたは買い物のときに使うマイバッグを持っていますか？



このように、マイバッグを持っている人は、かなり多いことが分かります。しかし、それを普段の買い物でいつも使っているとは限らないようです。実際の調査時も、その日にマイバッグを持参していた人は61.5%よりもかなり少なかったようで、持っただけでも使われていない実態が窺えます。マイバッグが家庭にあったとしても、外出した後で忘れたことに気づく場合も多いので、玄関などの

生活の動線上に目立つように配置しておくことが大切です。また、マイバッグは折りたためばとてもコンパクトになるので、外出時のメインのカバンに常に入れておくのも良いでしょう。

レジ袋を受け取る理由

レジ袋を受け取るようにしている人に、その理由を聞いたところ、以下のような回答がありました。

- ・買い物の量が多いから
- ・家でゴミ袋として再利用しているから

スーパーではまとめて買いをする人も多いので、一つのマイバッグでは買った品物が入りきらないという実態があるようです。普段から2、3個のマイバッグを持ち

レジ袋有料化 レジ袋の有料化に賛成ですか？反対ですか？



上のグラフのように、有料化に賛成の人が多数派のようです。資源の節約が大切だと考える、環境意識の高まりが反映されたのではないのでしょうか。有料化されれば、レジ袋を受け取ることへの抵抗感が増して、マイバッグ持参率が高まることが予想されます。しかし、あまり安い値段に設定すると、気にならずに今まで通り受け取ってしまう可能性もあります。アンケートでは、有料化に賛成した人に対して、**何円が妥当だと考えるか**も聞きました。結果は、**5**

歩いていない限り、結局レジ袋も使わざるをえないことになるので、1枚受け取るのも2枚受け取るのも大差はないということでしょうか。

そしてゴミ袋として再利用するという人は、もしスーパーでレジ袋を受け取らなければ、別に「ゴミ袋」を買わなくてはならなくなり、資源の節約にはならないと考えているのかもしれない。この意見は確かに一理あります。しかし、無自覚に受け取ったレジ袋と、お金を払って買った「ゴミ袋」では、使うときの感覚が違って来るように思います。無自覚に受け取ったものは、やはり無自覚に捨てられる可能性も高くなるのではないのでしょうか。特に小さいレジ袋は、ゴミ袋としては使いにくく、結局そのままゴミとして捨ててしまうことも考えられます。



温暖化の不思議 新聞やテレビで毎日のように地球温暖化のニュースを目にしていますが、実際何が問題で、どのくらい深刻なのかと聞かれると、はっきり答えられる人は少ないのではないのでしょうか。またそれらのニュースは、なるべくシンプルで、インパクトが強くなるように編集されているので、私たちはときに誤解をして、間違った知識を持ってしまいます。このコラムでは、私たちがややもすると誤解をしてしまう事柄について、その真相を探っていきます。

温暖化は何が問題なの？

まずはクイズから。

Q1. 温暖化がすすむと北極や南極の氷がとけ出す？

YESor NO

Q2. 北極や南極の氷がとけ出すと海面が上昇する？

YESor NO

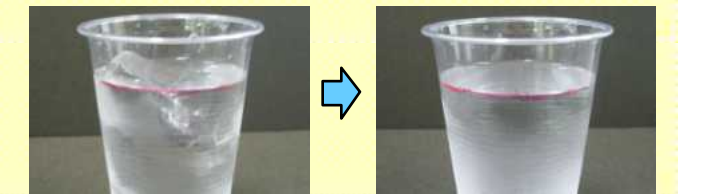


どうでしょう。簡単そうですね。では答えを発表します。まずQ1.の答えはもちろん**YES**。温暖化が進んで、北極・南極のなかで温度が0以上になる部分がでてくれば、当然氷が海にとけ出していきます。

ではそれを受けて、Q2.の答えはというと、実は**NO**なんです。これはちょっと意外ですね。「氷がとけたら海水が増えるんだから、海面は上昇するはずだ」と思いたくなります。でも違うんです。

北極と南極では少し事情が違うので、まずは北極について説明します。北極というのは海に浮かんでいる巨大な氷の塊です。この浮いている氷は、とけて水になったとしても、水位に変化は与えません。試しにコップの水に氷を浮かべ、とける前と後で水位が変わるかどうかが観察してみてください。結果は増えもしないし、減りもしない。これ

は、氷はとけるときに体積が減り、最初に水に沈んでいた部分の体積とちょうど等しくなるからです。たとえ巨大な北極の氷全てがとけたとしても、海面は上昇しません。



(浮いている氷は、とけても水位は変わらない。)

次に南極についてですが、南極の氷は陸地の上に乗っています。海に浮いているわけではないので、氷がとけて陸から海に流れ出せば、それだけ海の水が増え海面は上昇しそうです。ところが・・・温暖化が進めば海水の蒸発が活発になり、水蒸気は雲となって雨や雪を降らせません。もし風が海から南極のほうへ吹いていけば、水蒸気は結局、雪となって南極のまだとけていない部分に降り積もり、氷となります。しかも、南極の中心部は圧倒的に温度が低く、温暖化ぐらいでは絶対氷はとけないため、降り積もった雪のせいで南極中心部の氷はむしろ増えてゆくこととなります。よって南極も、温暖化で氷がとけ始めたとしても海面の上昇は引き起こさないというのが、研究者たちの共通見解であるようです。

ここで再びクイズです。

Q3. 北極・南極の氷がとけ出しても水位に影響がないのなら、温暖化しても海面は上昇しない？

YESor NO

答えは**NO**。海面は上昇します。これも意外ですね。もう何が何だか分からなくなってしまいそうですが、これも単純な理由があります。海面が上昇するのは、「氷がとけるから」というよりも、「海水が膨張するから」なんです。一般的に温度が上がると、物質は膨張します。膨張するのは海も陸地も一緒なのですが、海と陸地では「膨張率」に差があります。温度が上がった時に海のほうが陸地より膨張しやすいため、相対的に海水の体積が大きくなり、海面が上昇するわけです。

「海と陸地の膨張率の差で海面が上昇する」というのは、なんだか小難しくイメージしづらいですよね。一方、「北極・南極の氷が溶けて海面が上昇する」というのはとてもイメージしやすい。何となく信じてしまいがちです。

温暖化は止められる？

では最後のクイズです。

Q4. 人間が排出するCO2さえ減らせば、温暖化は確実にストップする？ YESor NO

YESかNOで答えると言っておきながら、申し訳ないのですが、実はこの答えは誰にも**分かりません**。未来のことだから分からないのは当然なのですが、それ以上に、温暖化はいくつもの要素が複雑に絡み合っていて、正確な予測を立てにくいという面があります。専門家たちの最新の研究のなかで、CO2が原因であるらしいということが結論付けられ、それを元に様々な対策が講じられているわけですが、それらの対策を実行すれば温暖化が必ずストップするのかというと、そうとは言い切れません。しかし、「どうなるか分からないなら対策なんてとる必要はない」というわけにもいかないのです、ある程度の予測を立てつつ、可能な対策を実行していくことは大切です。CO2削減は、その実行可能な対策の一つということになります。

私たち個人が、温暖化を含めた環境問題と向き合うとき、何が実行可能な対策となるのでしょうか。それはやはり、環境に優しいライフスタイルを確立することだと思います。節電、リサイクル、エコバックなど、個別の対策を全てひっくるめた、環境負荷の少ないライフスタイルを目指すべきです。「どうなるか分からない」未来の世に生きる子孫のためにも、なるべく地球を痛めつけずにおきたいものです。健康な地球と、環境に優しいライフスタイル、この二つをセットにして未来の世に残していけたら素敵ですね。